

日々明朗 日々努力

飯豊町立
飯豊中学校「職員室通信」
令和 4年 2月21日 No. 12
教頭 新野幸博

学校再開にあたり「再」確認

1. 「安全」な学校生活のために

(1) 「感染経路を絶つ」ことからぶれず、学校再開後の一日の流れを全校で確認する。

- ・ 生徒自身が適切に判断し、行動する力を培うことまで考える
- ・ 生徒会、学年・学級組織を機能させ、生徒と共に総がかりで

(2) 今後も各自が校務分掌等の立場で考え、組織対応を積み上げる。

- ・ 評価・改善の繰り返しを誠実に行う (気づきを声に)

(3) 毎朝、前日の成果に対し感謝を伝え合いながら取り組む。

- ・ 公立高校等入試、卒業式へも思いをつなぐ



2. 「安心」な学校生活のために

(1) 感染・濃厚接触・検査対象者等に対する詮索や誹謗中傷等は、断じて許されない行為であることの全体共有。生徒と家族を守るための状況把握と支援の実施。

- ・ SNSやインターネットなどを含み、具体例をあげて指導
- ・ 相談窓口の周知と心のケア(相談体制とSC等との連携)
- ・ 自分を見つめてアンケートの前倒し等

(2) 風邪症状等は状況を正確に聞き、受診・報告依頼・出席停止扱い等を正確に伝える。

- ・ 不安や心配を抱えた生徒と家族の心のうちを想像した説明と対応への感謝
- ・ 誰でも感染源になり得ることを念頭に、毅然とした態度でガイドラインを徹底

(3) 臨時休業による学習の「遅れの取り戻し」について必ず説明する。

- ・ 「学校全体」「学年・学級」「各教科」から、速やかに・丁寧に・繰り返し説明
- ・ 特に受検前の3年生への支援を(個別面談や個別対応含む)



問い合わせへの対応は、当然ながら「回答する」意識が強くなります。しかし、相手の事情がわからなければ、適切な答えにならないばかりか誤解される場合もあります。特に新型コロナウイルスに関しては、仕事や家族など様々な事情がある(かもしれない)ことを「聞く」姿勢も大切に考えましょう。